



去年1年間に京大で起こった主な出来事をまとめてみました。みなさんにとってはどんな年でしたか？

京大十大大 ニュース



○～石垣★カフェ跡地に～京大北西門

百万遍交差点南東の石垣の上に設置され話題となった石垣★カフェ。長い話し合いの末、大学当局と石垣★カフェ側が和解し2005年8月に解体されたが、その和解の過程で建設が決まった中央キャンパス北西門（当初は『森の小道』と呼ばれていた）が1月に着工され、3月末に完成した。2004年に大学が改修工事計画を発表したが、石垣の取り壊しに学生が反発し、長らく話し合いの場が持たれていた。



○新課程入試とその影響

2月25日・26日「ゆとり教育」といわれる新指導要領に基づく初めての入試が行われた。

京大の入試でも出題範囲が変わったほか、医学部医学科に理科3科目が、文系学部で数学Cが課されるなどかなりの変革がなされた。

また、全学共通科目において高校の範囲から削除された内容を補完するための科目が開講されるなど、大学のカリキュラムにも影響が表れている。



○京大病院の新病棟建設に70億寄附

京都大学は山内溥氏（任天堂株式会社相談役）から70億円の寄附を受け、本学の附属病院の新病棟を建設することになった。附属病院の病棟を民間からの寄附で建設することは京都大学にとって初めて。附属病院は平成11年に外来診療棟が新設されたが、病棟に関しては一部病棟の老朽化や分散という問題があった。

新病棟は、病棟の整備とともに病棟の一元化を図る構想実現の第一歩として、患者の側にたって設備を充実させることを重視した高度先進医療を实践するために作られる。

○専門職大学院発足

4月1日、京都大学に経営管理大学院・公共政策連携大学院が専門職大学院として発足した。

経営管理大学院は「マネジメントに関する高度な専門的かつ実践的な能力を持つ、真のプロフェッショナルを育成する」ことを目指している。公共政策連携大学院は、法学研究科と経済学研究科の支援の下に、高度職業人を育成するために設立された。



はみだし
すてーじ

←の投稿者の意見に賛同致します。
⇒え、矢印の先には投稿なんてありませんけど？

（薬・1 まぬけメガネ）
（残念でした；編）

○ブランドビール「ホワイトナイル」

京都大学の伏木亨教授と、早稲田大学の吉村作治教授が中心となって古代エジプトビールを再現した「ホワイトナイル」が、2006年4月に発売された。各大学の生協店舗などで販売され人気を博し、「今日、大盛況（京大生協）はホワイトナイルのたまもの」とのジョークも飛び交った。なお、2007年夏からは、古代エジプトで実際に利用された品種「エンマー小麦」を使用して製造される。



○地球系が桂キャンパスに移転

2003年に桂キャンパスが設置されて以来、工学研究科の各専攻が続々と移転しているが、その第5弾として地球系の研究室が2006年10月に桂キャンパスCクラスターに移転した。

桂キャンパスでは建設工事が続いており、あとはDクラスター（情報学研究科）の完成を待つのみとなっている。



特集・テーマ別2006年

○学術研究の1年

医学研究科の久場博司助手らの研究グループは、音のくる方向を正確に知るための神経のしくみとして、音源の位置を特定する神経細胞では興奮の始まる場所が音の周波数に応じて最適化されていることを発見した。

また、「数学は、最新科学技術の背後にある駆動力であり、キーテクノロジーである」ことを周知することを目的として2002年に国際数学連合（IMU）が設けたガウス賞の初受賞者が、京大の伊藤清名誉教授に決まった。

○部活動の1年

体育会ボート部が全日本選手権舵手付きペア種目で優勝を果たした。ボート部創部以来の快挙であり、6月には総長に優勝報告を行った。

また、将棋部は、毎日杯争奪第2回全国大学対抗将棋大会で優勝した。昨年度優勝の東京大学など強豪を破っての全勝優勝となった。

○理学部校舎から出火

11月28日午前11時20分ごろ、理学研究科1号館の地下1階の実験室前の空調用ダクトから出火した。京都市消防局の消防車など15台が出動したが、火は間もなく消え、けが人はなかった。出火現場近くに生物物理実験で放射性同位元素（R I）を扱う「R I室」や「R I保管室」などの部屋があるた

め、同消防局は放射能漏れの恐れもあるとして、一時付近の教員や大学生らを棟外に避難させた。



○京大生協の1年

弁当のカラ容器を減らすために、リターナブル弁当を導入した。通常の弁当の他に弁当箱デポジット600円を払う形で、デポジットは容器を返却すれば返金される。昼休みに吉田食堂前、時計台周辺等で販売されている。

10月13日には時計台周辺において秋の収穫祭として中央キャンパス祭りが開催された。秋の味覚満載の屋台と、学生サークルによる歌と踊りが行われ、盛況を博した。